

報道関係者各位

2012 年 5 月 7 日  
株式会社アイネット

『Mapdemic』 XenApp Mobile Application SDK 開発センターを設立

Windows アプリケーションを企業向けモバイル対応へ

～モバイルワークスタイルを加速、クラウドデータセンターから DaaS で提供可能に～

株式会社アイネット（以下：アイネット）は、多くの企業ユーザで稼働している既存 Windows アプリをスマートフォンやタブレットに対応させるモバイル開発サービスとして『Mapdemic (Mobile Application Development & Migration Center)』XenApp Mobile Application SDK 開発センターを開設します。

『Mapdemic』開発センターで構築されたモバイル対応 Windows アプリは、アイネットの VAiOS クラウドサービス VIDAAS® XenApp アプリケーション配信サービスで、データセンターから DaaS として展開することも可能となります。

アイネットでは、セキュリティやコンプライアンスなどモバイル対応に課題を抱え、既存の Windows アプリを多数保有している企業向けに 2012 年 5 月 28 日より開発サービスの提供を開始します。

■ 『Mapdemic』開発センター開設の背景

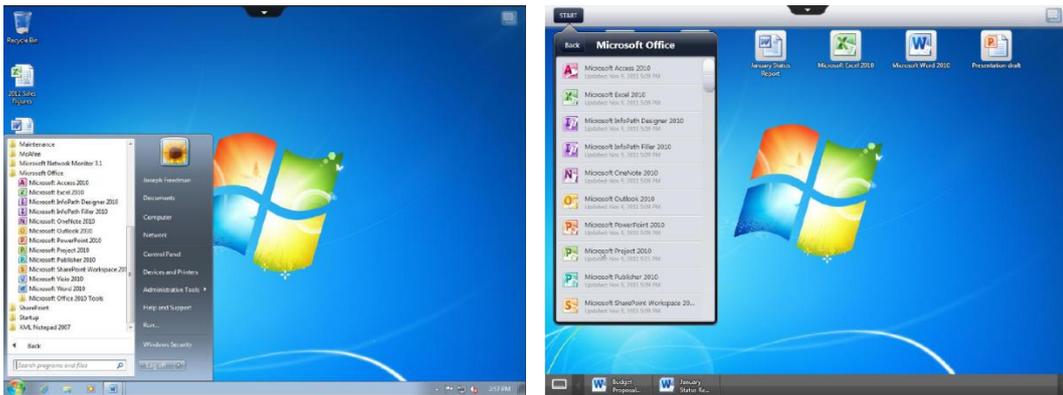
「4-to-1」、2015 年までに、スマートフォン、タブレットのモバイルアプリと PC ベースのアプリ開発の比率は 4 : 1 となり、従来の PC ソフトの 4 倍ものスマートフォン、タブレット用ソフト開発が予測されています。

しかしながら、すべてのモバイル利用を可能にするには、iOS と Android への 2 重の投資や高い開発コストと機能限定のトレードオフ、短いライフサイクルへの対応など多くの課題に対処しなければなりません。既存 Windows ビジネスアプリをそのままの仕様で、アプリケーション仮想化ができたとしても操作はマウスとキーボードの使用が前提となり、スマートフォンやタブレットのタッチフレンドリとは異なり課題が残ります。

■ 『Mapdemic』開発センターのメリット

『Mapdemic』開発センターでは、既存の Windows アプリをタブレットやスマートフォンに低コストでマイグレーションできます。タブレットやスマートフォン向けに新たにアプリを開発するのではなく、既存の PC ソフトをタブレットやスマートフォンに対応、画面サイズの対応、電話やカメラ、GPS、SMS などの機能もアプリに組み込めますので使い勝手もよく、BYOD、セキュリティ、コンプライアンスなどへも高いレベルで対応できます。

■ サービス内容



BEFORE

AFTER

『Mapdemic』開発センターでは、XenApp 6.5 Mobility Pack で容易にタブレット、スマートフォンに最適なインターフェイスを構築、モバイルデバイスへ最適化、タッチフレンドリーなインターフェイスを実現します。さらに、Windows アプリや XenApp Mobile Application SDK に精通した開発エンジニアが SDK50 以上の API を活用し短期間でモバイルデバイス特有の機能と業務アプリケーションの連携を実現します。

デバイスの画面解像度、画面サイズへ自動的に最適化、キーボード表示/非表示を画面上で切り替え、デバイス標準機能との連動（位置情報、カメラ、音声通話、SNS、メール、等）を Windows アプリに最適化することができます。

マイグレーション対応したシステムは VIDAAS® XenApp アプリケーション配信サービスでデータセンターから利用できますので高いセキュリティと安全性、可用性が向上します。

■ 『Mapdemic』開発センターの価格、提供開始時期

1. 提供価格

- 個別見積り

2. 提供開始時期

- 2012年5月28日

※詳細は、営業担当へお問い合わせください。

■ 商標について

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

■ リリースに関するお問合せ先

株式会社アイネット 広報担当 高宮、杉岡

〒220-8401 横浜市西区みなとみらい3丁目3番1号 三菱重工横浜ビル 23階

TEL : 045-682-0808 E-mail : infoir@inet.co.jp

以上